（別紙4）　　令和　1　年度

# 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 2590200248 | | |
| 法人名 | 株式会社まごころ住宅 | | |
| 事業所名 | グループホームえくぼ | | |
| 所在地 | 滋賀県彦根市金剛寺町58-1 | | |
| 自己評価作成日 | | 評価結果市町村受理日 | 令和2年3月23日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

| | |
|---|---|
| 基本情報リンク先 | |

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | ナルク滋賀福祉調査センター |
| 所在地 | 大津市和邇中浜　平和堂和邇店2階 |
| 訪問調査日 | 令和2年3月12日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者お一人おひとりが安心できる居場所がつくれるように、ご本人、ご家族様の思いを大切に職員が情報の共有を図り、理念に掲げている「気配り・目配り・心配り」で個別ケアの充実を図っている。「えくぼに来てよかった。」と言っていただけるよう信頼関係の構築を大事に状況に合わせて、ケアの統一を図り、最期までその人らしく安心して暮らせるホームを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

理念は、自分らしく居れる場所である為の目配り、快適に過ごせる為の気配り、楽しんで生活して貰う為に一人ひとりに心配りの『3配りで笑顔一杯』と謳っている。職員の普通に当たり前の接遇が、利用者にとって本当に意に沿った介護が出来ているか、利用者のいつもの声、さっきの声に違いを感じないか、常に意識し合ってベターではなく、ベストは何かを職員一同はケアに取り組んでいる。～身体拘束排除宣言～『…事業所は、身体拘束ゼロを目指し実践します』を、玄関や事務室に掲示や広報等内外に宣言している。開設以来、2例のターミナルケアを経験した。夜勤でも担当職員一人にさせない、24時間「ワンチーム」で当り、利用者の最後の言葉『ありがとう』を家族と共に看取り、職員は家族の感謝と達成感を得ている。開設し5年を迎える事業所で利用者は「3配り」に守られ穏やかな毎日を過ごしている。

## Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| | 項　目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25） | | 1. ほぼ全ての利用者の |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38） | ○ | 1. 毎日ある |
| | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまにある |
| | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38） | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37） | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49） | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31） | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |

| | 項　目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19） | | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | ○ | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20） | | 1. ほぼ毎日のように |
| | | ○ | 2. 数日に1回程度 |
| | | | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4） | | 1. 大いに増えている |
| | | ○ | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12） | | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | ○ | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどできていない |

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅰ.理念に基づく運営** | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所内の会議室・事務室・休憩室に理念を掲げ、共有している。ホームページにも理念を掲げている。ケアの統一を図る際に、その人らしく生活できるように申し送りや会議で周知している。 | 利用者に理念の『三配り』ケアが実践されているか、ケアプランを更に展開してその人だけの「ケアの統一表」を作成しその実践を確認し共有を図っている。広報誌に毎回理念を掲載し、職員共々共有に努めている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 賛助会員として自治会に加入させていただいている。日常的な交流までは、できていないが、民生委員さんや自治会長さんの協力を得て、地域の行事に参加できるように力添えしてしてくださっている。 | 地域民生委員の尽力で伊勢神楽見学の招待を受け、近隣の人達と交わり文化祭に利用者の作品を出展する迄に至った。近隣から、正月の松飾りや花を贈られたり、徐々に付き合いが広がっている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 常時見学可能な状況であり、見学・相談に来られた方や電話での相談に、アドバイスを行っている。また、広報誌に認知症に関するコラムを掲載している。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、家族、民生委員、地域包括支援センターの参加を得ている。事業所の取り組みや利用者の様子の報告を行っている。運営推進会議議事録を郵送、手渡ししている。意見をいただければ、できることから実践している。 | 会議は評価機関や複数の家族等の参加の下、隔月に開催している。ホームの状況、行事やヒヤリハット、事故及び身体拘束排除について報告している。ヒヤリハット内容については、活発な意見が出ている。詳細に議事録を纏め全家族にも配信している。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議に地域包括支援センターの担当者に出席していただき、現状や様子を把握してもらい、助言をいただいている。事業所の行事に参加していただけた。 | 地域包括支援センター主催の介護事例検討会に参加し発表したり、事業所の行事に参加を得たり行政との繋がりを強くしている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアを基本とし、日中ほぼ、フロアにて過ごされる事が多いため、お部屋には、防犯ロックはしているものの、玄関の施錠は行っていない。外にでていかれる方については、スタッフが付添うようにしている。スピーチロックについても会議や毎日のミーティングにて意識づけを行っている。 | 全職員が参加の下、身体拘束禁止に関する内外の研修に参加し、 周知を徹底してケアに当たり、「ダメ」は言わないを全職員が徹底している。利用前、抗精神病薬（リスパダール）を投薬されていた利用者に徹底した見守りや医師と相談しながら薬量を減らした改善例がある。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 会議や申し送り時に話し合いや高齢者虐待防止関連法についてのファイルを職員が閲覧できるように置いている。毎日の更衣、排泄時や入浴時の全身観察を徹底し、発見した場合は、至急報告するよう周知徹底している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 管理者は、研修に参加し、申し送り時や会議にて成年後見制度に関することを含めてケアについて話し合いを行なっている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 見学・面談の段階で、事業所の方針や理念に基づいたケアの方針を説明し、不安や疑問点を尋ね、納得していただいてから契約書に署名・捺印を頂いている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時には、家族様とできる限り関わりを持ち、その場で意見や要望を頂けるように努力している。利用者については、日々、レクリエーションや会話を通して要望を聴くように心がけている。できる事から、毎日の申し送りで話し合い実践している。 | 利用者の要望は職員が汲み取り、日々の介助やレクリエーションに組み入れている。家族には面会時等で、ヒヤリハット事例や雑談、愚痴を聞いたり話し合いの中から、家族の思いを共有し常に連携を取って信頼関係の構築に努めている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 代表者は、全職員に対して定期的に書面による意見聴取を行い、年に2回の個別面談、懇親会を通して、意見や提案を反映させている。管理者は、日々の申し送り時やケアの中で、職員の意見を聴きケアの充実や環境づくりに努力している。 | 管理者は職員の意見を申し送り時やカン ファレンス等で聞いたり都度、要望相談に乗っている。運営者と管理者は職員の自己年間目標について進捗状況等、個別面談で話し合い、併せて意見、愚痴等を聞いている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個々の努力や実績、勤務状況については、出社時に状況把握に努めている。また、管理者からの随時の報告で把握している。業務改善のため、人員増員ができた。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員全員が事業所内外の研修参加や資格取得ができるよう勤務日の調整を行い、必要に応じて参考書を提供している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者の事業所見学を積極的に取り入れ、ネットワークづくりに努めている。また、社外研修での同業者との交流や意見交換する機会を確保している。また、彦愛犬事業者協議会に加入している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービス導入時に本人、家族から、要望等を聴き、情報を共有しながら業務にあたっている。必要に応じて、センター方式の焦点シートの活用し、申し送りにてケアの統一を図りながら、信頼関係を構築するよう努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 見学・面談の段階で、お話しできる時間をとり、困っていることや要望、疑問点等傾聴し、分かりやすく説明するよう心掛け、信頼関係を構築できるよう努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人や家族が何に困り、要望されているのかを話し合い、優先すべき支援を見極めた支援に努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 家事やレクリエーションや会話など一緒に考えて行うよう努め、達成感や喜びを共有することで関係性を築いている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族の面会時は、日常の様子や変化を伝えたり、FAX、メール、月１回の報告を通して、本人の状態を共有することでともに支えあっていく関係を築く努力をしている。また、必要に応じて、話し合いを行っている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家族や親せき、知人へのはがきを出す時は、支援している。実家への帰宅やお参りなどは、家族と協力しながら支援している。面会時は、フリースペースを活用したり、お部屋にてゆっくり過ごしていただけるよう配慮している。 | 地域の行事に出向いたり、知人等の来訪時には居室やパブリックスペースで居心地よく寛げる様、配慮している。昔の写真や旧姓、学校、伊吹山を回想法として話題にして馴染みの人や場所との関係が途切れない支援に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者の状況を考慮し、席を配置している。お一人おひとりの性格や好みに応じたレクリエーション活動、家事等を通して友好的な人間関係が構築できるように努力している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約終了後も、退所後の本人、家族の状態を把握し、気軽に相談していただけるよう声掛けを行っている。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の言動、表情、様子や機嫌から意向を汲み取り毎日の申し送りやノートを通じて職員間で情報共有できるよう努めている。 | 職員は、日々利用者と一緒にいる時に利用者の「いつもと違う」をキーワードに硬い表情や仕草、返答等から意向の把握に努め、意思表示の 困難な利用者には入浴時や独語を聞き流す事なく注意して皆で 共有を図っている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人との日々の会話やレクリエーションの中から生活歴や好きな事などを把握し、新しい情報については、面会時等に家族に協力していただき、確認するようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の関わりや記録、毎日の申し送りにて、現状の把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画は、本人と家族の意向を聴き作成している。状態変化があれば都度見直し対応している。職員は、申し送りノート・個別のケア統一表に記録し介護計画に反映している。 | 本人や家族の意向、詳細に記入したケアの統一表を参考に介 護計画を作成している。医師に相談した内容も併せて介護計画 に反映している。3ヶ月毎に評価を行い計画を見直し、家族に来訪して貰い説明して承認を得ている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 業務の各時間帯に様子や実践・結果を記録し記載された内容は、職員各自が目を通し情報を共有している。気づきや工夫については、ケア統一表にて周知し、ケアの実践につなげている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 状況や要望に応じて、柔軟な対応ができるよう努めている。通院・帰宅の支援を場合によっては、事業所にて対応している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域のボランティアさん、銀行、病院の方との訪問での交流や地域のお祭りの参加などを通して<br>支援できるよう努めている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入所前に、かかりつけ医を決めていただいている。検査等については、希望の病院で受診できるよう主治医に相談し、家族とともに通院支援を行っている。情報は家族と共有している。 | 看取りケア対応を前提に利用者・家族の希望で全利用者が協力医をかかりつけ医にしている。定期往診や通院時は管理者が立ち会い、診断内容は家族と共有し連携を密にしている。医療情報は全職員で共有している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師は週1回利用者の体調管理・状態把握するため、勤務している。疑問や異変時の相談、報告は、電話にて行っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には、本人のADL、服薬状況等を書面、または、口頭で詳しく伝え、入院中も毎日、状態確認を行っている。病院関係者と必要に応じて、早期退院支援を行っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 見学・面談の時点で、書面・口頭にて事業所の終末期への対応について説明させていただいている。入院治療を受ける段階にて、主治医からの説明を受け、看取りの同意書をいただいている。状態変化があった場合は、家族、主治医に報告し、家族の意向の確認と主治医の往診を受け、指示を仰いでいる。 | 重度化及び終末期ケア対応指針を文書化し、利用契約時に説明して同意書を交わしている。重度化に至った時点で医師の診断を踏まえ再度、家族と話し合い意向の確認と同意書を交わす体制を敷きワンチームで終末期ケアにり組んで2人の看取りをした。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急対応マニュアルを作成し、スタッフ室に配置している。随時、業務の中や申し送りにて、全ての職員が応急手当や初期対応が冷静に的確にできるよう助言等、行っている。救命救急講習へ参加している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署員立ち合いの下、利用者にも参加していただき避難訓練を行っている。自警団の方々の協力を得て避難訓練を行うことができた。非常品の備蓄も順次取り揃えている。 | 防災マニュアルを整備し、3地区の自警団員や自治会長の協力を得て消防署の指導の下、夜間想定も含み防災訓練を実施している。各居室は開口部を広く取りベッドごとの避難を可能にし且つ、避難経路を掲示し避難し易い様に対応している。 | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 丁寧な言葉遣いと対応をするように心掛けている。会議にて、具体例をあげ、職員全員に周知するようにしている。 | 人格の尊重やプライバ シー確保の研修で理解を深め、利用者を人生の先輩として誇りを尊重し丁寧な言葉掛けを励行している。利用者に常に見られている職員として、いつもの声で落ち着いて貰える「3配り」を意識してケアに努めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 個々に合わせて声掛けや必要に応じて筆談を行い、本人の希望を聞いている。利用者の何気ない一言や表情から思いを汲み取るよう心掛けている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の利用者の気分や体調に合わせて生活していただけるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 着替えの際、その日着る服を選んでいただいている。意思の表現が難しい方には、季節や気候に合った服装を職員が選び、本人に提示してから更衣していただくようにしている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 基本配食を利用しているが、盛り付けや片付け等職員と一緒に行っている。手作りの食事の際は、個々に役割を持っていただき、準備、調理、後片付けを行っている。 | 配食サービスを利用しているが、主食、汁物は事業所で作っている。検食結果は毎月業者と話し合い配食に活かしている。定期的におやつ作りや調理レク、外食を楽しんでいる。畑の収穫物が食卓に上る事もある。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | カロリー計算は、業者がして下さっている。食事量、水分量に関しては、個別に日々記録し、職員間で共有している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを行っている。歯がない方についても、必要に応じて舌表面のブラッシングを行っている。義歯に関しては、夜間は、洗浄液に浸け清潔を保つようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりの排泄パターンを把握し、個々に応じた排泄支援を行っている。パッド等、なるべく使わなくても良い支援方法を職員間で検討 している。 | 得手に合ったトイレに使い分け誘導している。便器を少し埋め込み便座高さを低く配慮している。排泄パターンを把握し、一人ひとりに 合わせて誘導を行っている。夜間の支援は出来るだけ睡眠を優先している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分摂取量の記録や排泄チェック表の記入を行い、ウオッシュレットをあてたり、腹部マッサージを行ったり、乳製品の提供を個々に行っている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 週3回、入浴していただいている。曜日は決められているが、時間は、その日の体調や気分で変更していただいている。ヒートショック対応を施している。 | 浴室は可動式入浴台を導入し浴槽への移動のリスク軽減を図り支援している。浴槽は利用者が安全且つ、座位で肩迄浸かれる深さを保てる仕切り板を工夫している。泡で洗える洗剤と保湿クリームで入浴を楽しんでいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | フロア内にソファーを用意し、状況に応じて休息ができる。体調や状況により、居室のソファーやベッドにて休息していただいている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個人の服薬状況は、個人ファイルにまとめてありいつでも確認ができる。薬剤師・看護師より用法・症状に注意が必要な場合は、指導があり、申し送りノートや申し送り時に周知している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | お一人おひとりの生活歴や現状に合わせて、家事・外出・外食などができるよう支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 個別に外出、外食支援を行ったり、少人数での外出支援を行っている。家族との外出も支援している。 | 新肺炎球菌流行の為、此のところ外出回数は減っているが利用者の希望に沿って、ドライブ、喫茶店にも行き気分転換を図っている。菜園の手入れや居室を取り囲むウッドデッキで、ひなたぼっこ、お茶やバーベキューを楽しんでいる。広い敷地内を散歩し外の風を肌で感じて楽しんでいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 家族と話し合い、お金を持つことで安心される方については、トラブルにならない程度のお金を所持されている。外出先で、使える支援もしてる。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 必要に応じて、電話の取次ぎを行っている。手紙の要望があれば支援している。年賀状は、全員の利用者に書いていただいた。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 毎月の壁画作りやクリスマスツリー、門松を置き季節感を取り入れるように心掛けている。<br>食事の時間には、CDを流している。庭には、畑や花壇、果樹にて季節を感じていただけるよう工夫している。 | 広く明るい居間はコミュニケーションに最適の六角テーブルを配置し、お喋りや手作りカード遊び、塗り絵等銘々が寛いでいる。利用者が創作した刺繍タペストリーや玄人裸足の塗り絵作品が訪問客を迎えて呉れる。一角に畳コーナーを設け癒しのスペースになっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フリースペースにソファーを置き、食卓でない場所で時間を過ごせるようにしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家族の写真や慣れ親しんだ物を持ち込まれたり、本人の作品を掲示されたりしている。 | 訪問者も寛げる広い居室でベットは高反発マット天然ラテックスを備え、褥瘡防止に役立てている。利用者は馴染みの家具や身の回り品を持ち込み、趣味の作 品、家族の写真を身近に置き安心して過ごせる居室としている。失認症状の利用者には洋服ハンガーのレイアウトを工夫している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレや居室、浴室の入り口に表札を掲げることでわかりやすいように工夫している。居室・リビング・脱衣所に時計があり、各居室には、カレンダーを掛け、リビングには月日を掲示し、日時を把握しながら、生活を送っておられる方もいる。 | | |

事業所名　グループホームえくぼ

作成日：令和 2 年 3 月 17 日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

**【目標達成計画】**

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 35 | 災害対策は、マニュアルを整備、年2回の避難訓練を自警団の方々の応援をいただき実施できているが、備蓄品や災害時の停電等の対策が不十分である。 | 備蓄品の充実を図り、停電時の寒暖に対応 できるように、職員で話し合い実践してみる。 | 1日に必要な食糧や水の把握をするために、実際に備蓄品で電気を使わず、調理する。結果、話し合いを行ない、3日分の備蓄、必要な用品を備える。 | 12ヶ月 |
| 2 | 13 | 部外研修への参加が、人員不足により、計画通りにできなかった。 | 部外研修への参加を計画通りに行い、研修参加した職員が内部研修を行う。 | 滋賀県社会福祉協議会、グループホーム部 会、彦愛犬事業所協議会等の研修へ計画的に 参加を進めていく。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | |

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。